

NPO 有明海再生機構シンポジウム

“有明海再生・創生のこれまでの歩みと今後の展望を考える”

～ NPO 法人有明海再生機構設立 15 周年の節目にあたって～

【開催趣旨】

有明海は、閉鎖性海域で日本一の干満差を有し、広大な干潟が形成され、有明海だけに限られるムツゴロウ、ワラスボ、エツなどの特産種をはじめ、珍しい生き物の宝庫となっています。しかし、そのような生き物が年々減少していき、有明海が豊穡な海でなくなりつつあると危惧されていた折に、諫早湾干拓事業により諫早湾を締め切る潮受け堤防が着手されました。

2000年にノリの大規模色落ちの発生を機に、諫早湾干拓事業との関係で、漁業不振の問題、有明海環境問題、潮受け堤防排水門の開門調査などが惹起され、このことが有明海問題として地域の関心事となり社会問題化していきました。いまだに、開門調査を巡る司法の場での争いも繰り広げられています。そして現在までの間、有明海再生に向けた原因究明の調査研究や覆砂、海底耕耘などの公共事業が行われ、一定の成果も収められていますが、まだ多くの課題が残されています。社会問題化した2000年から20年が経過し、そして有明海再生機構が設立されてからも15年が経過します。

このシンポジウムでは、有明海再生機構が設立の趣旨に沿ってどこまで役割を果たせたか、そしてこれまでの活動を振り返りながら、目指すべき有明海再生・創生は果たして前進しているのか、そうでないとすればどこに問題があって今後の課題は何なのか、議論していきます。

【開催日時、場所】

日時 令和2年10月11日(日) 13:30～15:30

場所 佐賀文化会館イベントホール

【プログラム】

1. 開会の挨拶

NPO法人有明海再生機構理事長 **川上義幸**

2. 話題提供

“今後の有明海創生を考える(有明海再生機構からの提言)”

NPO法人有明海再生機構理事長 **川上義幸**

3. パネルディスカッション

“有明海再生・創生のこれまでの歩みと今後の展望”を考える

コーディネーター

NPO法人有明海再生機構副理事長 **小松利光**

パネラー

NPO法人有明海再生機構理事 **大嶋雄治**

NPO法人有明海再生機構理事 **速水祐一**

佐賀県健康増進課技術監 **吉村弘美**

NPO法人有明海再生機構支援会員 **佐賀県有明海漁業協働組合専務 江頭忠則**

NPO法人有明海再生機構支援会員 **いであ株式会社 川岸寛**

4. 閉会の挨拶

NPO法人有明海再生機構副理事長 **大串浩一郎**



★インターネットライブ中継いたします。

視聴を希望される方は、10月3日(土)までに、メールにて氏名、所属名、電話番号、メールアドレスを下記メールアドレスまで連絡してください。後日、視聴方法をメールいたします。

主催・問合せ先 特定非営利活動法人有明海再生機構

HP <http://www.npo-ariake.jp/> mail npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp